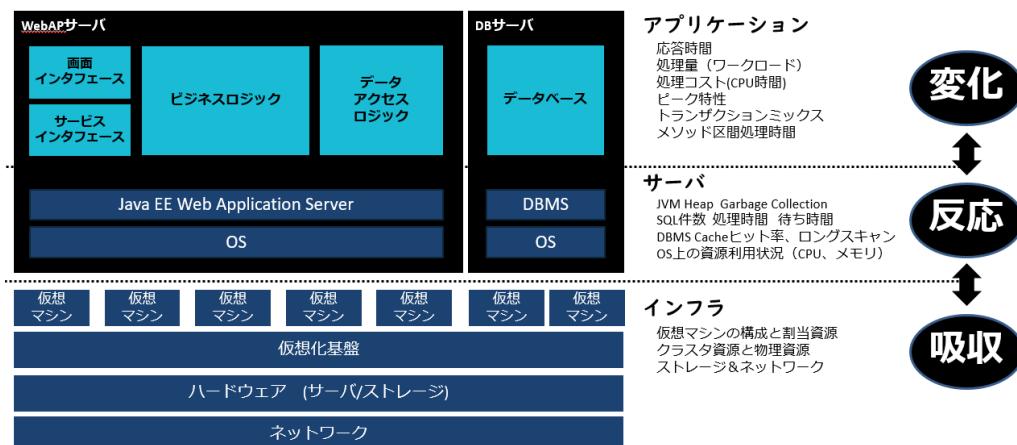


<補足資料>

エンタープライズ性能管理ツール「ES/1 Shelt」は、大きな特長として、今まで個々のサーバーメトリック、個々のサーバーに管理視点が当てがちで、システム全体の性能状況を把握することに難しさがある運用管理の現場に、システムの全体像を俯瞰することで健全性の確認から性能問題の発見、切り分けをスムーズに行える運用高度化の提供を目指しています。

具体的には ES/1 NEO シリーズで従来弊社が得意とするインフラ、サーバー層の計測に加え、アプリケーション計測による投入されるすべてのトランザクションの計測と個別のトランザクション処理の可視化も可能としました。

すべての取得データに対して 1 秒前の状況を確認できるリアルタイム監視から、即時分析(AD-HOC)、中長期的な統計分析までを、ひとつのツールで行うことができ、性能問題の発見から分析解決策の立案をシームレスに行うことが可能です。



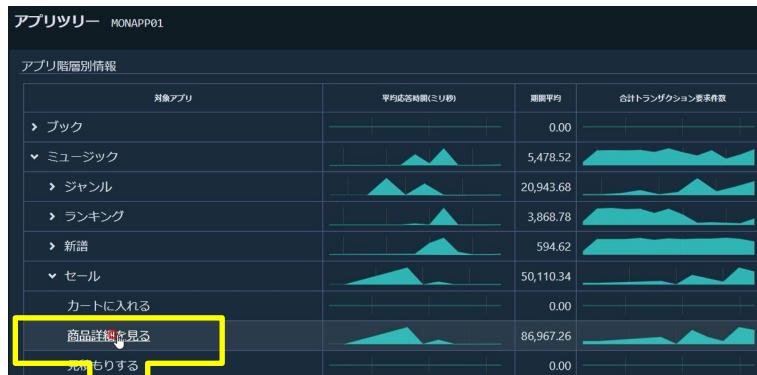
これらの高度化した計測、俯瞰的な全体把握から以下の管理改善をご提案します。

- ① 性能問題のリアルタイム検知から問題切り分け、トランザクションの詳細分析ができます。
- ② インフラ運用部門・アプリ開発部門のシステム用語だけではなく業務部門が理解できる業務言語化したダッシュボードを提供します。
- ③ 即時状況把握と中長期的な統計分析を組み合わせることで以下の把握が可能です。
 - 業務部門として業務システムの性能劣化の影響範囲の特定（全体 or 特定業務）
 - 突発的な性能問題と潜在化し今後問題となる予兆を分析

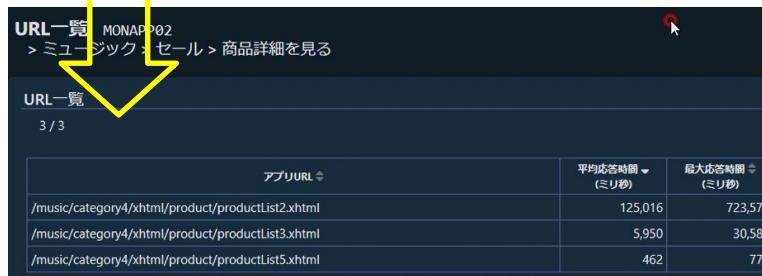
<エンタープライズシステムの俯瞰的状況確認>



<アプリケーション計測からのトランザクション可視化> 共通言語でグループ化された機能

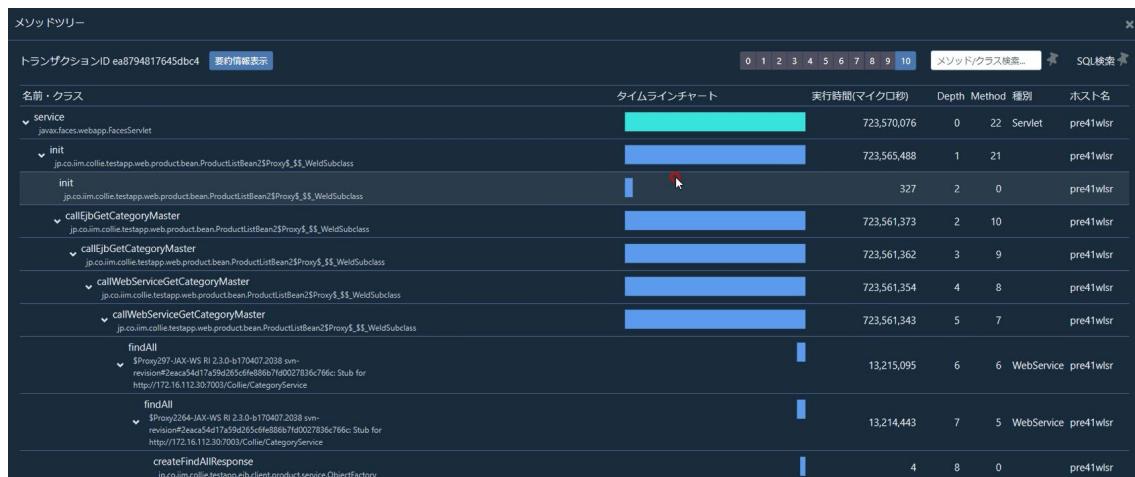


グループ化されている URI 群



特に昨今性能管理の新しい標準となりつつあるアプリケーション計測については、国産ツールとしては初めて対応しました^{*1}。これにより、システム利用状況の全量捕捉が可能になり、一件一件のトランザクション処理のアプリケーションコードレベルの可視化ができるようになりました。運用と開発、インフラ、アプリの壁を越えた問題切りわけが可能になり、より安定したサービス提供と性能問題の能動的な発見、解決が行えるようになります。

特定のトランザクションのアプリコードレベルの可視化



<即時分析 (AD-HOC) 機能>



さらに ES/1 Sheltty は、お客様保有のシステム全台に入れていただくことを想定しており、導入や管理基盤そのものの運用にかかる工数を大きく低減する仕組みを実装しています。

アプリケーション計測ツールで問題になりやすい計測負荷（商用サーバー、ネットワーク）の軽減についても、製品コンセプトの 1 つとしています。

以上